

# キリスト教の基礎知識 「イースター」

今年も春の訪れとともにイースターの季節がやってきました。イースターはイエス・キリストの復活をお祝いする記念の日で、今年三月三十一日(日)にあたります。

の終着点なのです。聖書は、死に代表される人間の暗い現実から目を背けて、そこから逃避する道を教えているのではありません。むしろ、そのような厳しい現実を直視した上で、そこを通ってたどり着くことのできる希望を指し示しているのです。

## 共に苦しまれる神

イエス・キリストが十字架で苦しみ死なれたということは、神が私たち人間の現実から遠く離れて超然とした存在ではなく、私たちの日々の生活の苦しみに寄り添って、共に痛んでくださるお方であることを表しています。

けれどもそれで終わりではありません。イエス・キリストは死んで三日目によみがえられました。そして聖書は、私たちもやがてよみがえる希望を約束しているのです。

## 夜の後は朝が来る

イエス・キリストは日曜日の朝早く復活しました。どんなに暗い夜の後にも、必ず朝が来ます。聖書の神は、私たちがどんなに絶望的な状況にある時も私たちを見捨てることなく、希望を与えてくださるお方なのです。

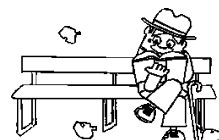
## 死の現実



ヨーロッパに古くから伝わる言葉に「メント・モリ」があります。ラテン語で「死を覚えよ」という意味で、人間はいつか必ず死すべき存在であることを忘れるなという事です。人種や宗教や貧富の差に関わらず、あらゆる人は必ず最終的に死を経験します。死はこの世界で私たちが味わう様々な困難や苦しみの要約であり、そ

の春に勉強に励み、真理を追究し、アイデンティティを確立した人でした。人生の夏には、ユダヤの国の為に、民衆の為に、よく働いた人、本当に成熟した人でした。彼は老年になった時に、夜一人でこっそりとイエス様に教えを乞に行きました。人生の秋を迎え、老いを迎えた時、何か足りないと感じ、もっと深い意味が、この人生にあるはずだと思っただけではないでしょうか。

## 2. 青天の霹靂



イエス様はニコデモに言われました。「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ三章三節)これはニコデモにとって青天の霹靂でした。自分が歩んできた人生全てを否定されたと感じ瞬間でした。イエス様は「あなたは人生の春をよく勉学に励み、自我を確立し、人生の夏によく働き、自我を成熟させ、そして今老いて円熟の域に達してきた。しかし、あなたが歩いてきた、自分の努力によって神の国に入ろうとする方法をいくら続けても、神の国に入ることは出来ない」と言われたのでした。そして「もう一度、あなたは新しく生まれ変わって、出直さなければ、神の国を見ることすらできない」と言われたのです。

## 聖書を読む会(創世記第四章)

人生の秋を迎えて...ニコデモの場合(ヨハネ三章一〜二節)

### 1. ニコデモという人物

ニコデモは、パリサイ人の一人で、ユダヤ人の議員であり、指導者の一人でした。彼は人生

### 3. 水と霊のバプテスマ―新生

イエス様は「人は水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」(三章五節)と言われました。「水と御霊によるバプテスマ」を受けらるならば、神の国へ入れるとい

うことです。「水」はヨハネのバプテスマに代表される悔い改めと罪の赦しを意味します。「御霊」はキリストを信じることににより聖霊を注がれ、新しい命を獲得することを意味します。「バプテスマ」とは「イエス様の十字架の死とともに、私たちが葬られること。そしてキリストが3日目によみがえられたように、私たちが新しい命に生きること。」(ロマ六章三〜五節)です。私たちは自我の成長とともに人生を送ってきた。それは、この世において本当に大事なことです。しかしそれだけでは神の国に入れないのです。「自我に死」なければならぬのです。

### 4. 神の愛の賜物としての信仰

ニコデモはユダヤ教の信者としても、人一倍熱心だったと思います。ただ、それは自分の力で神の国に入ろうとする、「自我のわざによる信仰」でした。イエス様は「それでは神の国に入れない」と言われました。一方、私たちが自我に死んで、悔い改めた時、「神の愛の賜物としての信仰」、「神への基本的な信頼としての信仰」が与えられます。それは神様からの一方的な恵みとして、愛の賜物として、私たちに与えられるものです。それが「私たちの中に働き給う神のわざとしての信仰」です。

神様から与えられる「十字架の死と復活の主イエス・キリストとの交わり」。それが人生の秋に私たちが与えられる刈り入れであり、人生の秋の真の意味ではないでしょうか。



## ★天文ひとくちメモ

地上では桜の開花とともに春の訪れを喜びますが、夜空の星はまだまだ冬。賑やかな冬の一等星をひとつひとつ捜しながら、今年の冬に別れを告げましょう。三月下旬の夜八時頃、天頂よりやや西に目を向けると、一等星がたくさん見えますが、これを全部結んだ六角形が「冬のダイヤモンド」と呼びます。西の低空に見える木星は別として、その上にある西に少し傾いたオレンジ色はおうし座アルデバラン、左手に進んで、誰でも知っているオリオン座の右下の星リゲル、南西に下った低空の青白く輝くおおいぬ座シリウス、南の中天にはこいぬ座のプロキオン、天頂にはふたご座のポルクス(並んだカストルは二等星)、そしてやや北にはぎょしゃ座の黄色いカペラ。これで一周ですが、ひとつ残っているのがオリオン座の左上の赤い星ベテルギウス。これを六角形の中心と見立てましょうか。コンプリートしたら、ついでに春の一等星三つも見てください。天頂やや東のしし座レグルス、東の低空にオレンジ色のうしかい座アルクトウルス、そしてやや南の低空にはおとめ座のスピカです。これで春が迎えられるはず。

## <聖書を読む会>

- 開催日：第1、第3土曜日 変更になる月があります。
- 時間：午後2時～4時
- 場所：寺尾地区センター他
- ※開催日と場所は下までお問合せ下さい。
- 問合せ先：045-901-9560 村田

## <定期集案内>

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分
- ★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナ感染防止対策に努めながら礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸します。参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- 祈祷会 第2第4水曜日 午後7時30分
- 参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- みことばの分かち合い 第2日曜日 礼拝後(変更になる月があります)
- ★聖書/信仰書を皆で読み、学んだことや感想を分かち合い、深く味わう会です。
- お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二までどうぞ。

聖書がオーディオドラマになりました!

【配役】  
大和田伸也 (神)  
井上 芳雄 (イエス)  
南沢 奈央 (マリア)  
加藤 雅也 (モーセ)  
鶴見 辰吾 (ダビデ)

無料でダウンロードできる スマホアプリ

聴くドラマ聖書  
Japanese Drama Bible  
Grace & Mercy  
日本 G & M 文化財団

Google Play 手に入れよう  
App Store からダウンロード

聴くドラマ聖書 PC版 : <https://dramabilejapan.org>